



神奈川ネット 市政報告

発行日:2018年1月30日



市議 山崎さゆき

http://yamazaki.kanagawanet.jp/



市議 くにかね久子

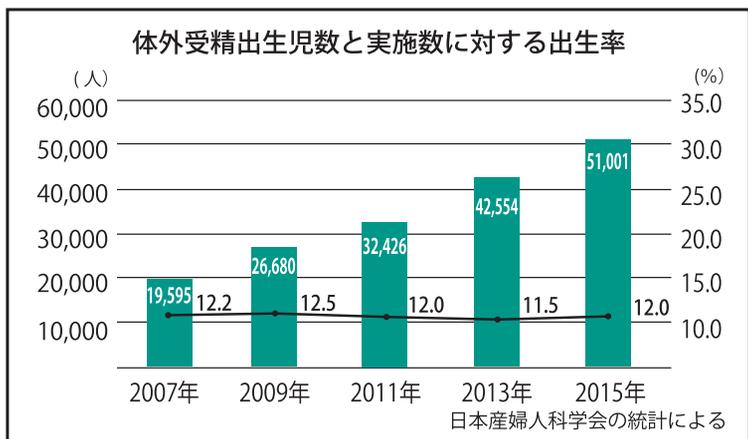
http://kunikane.kanagawanet.jp/

妊娠に関する 相談体制の拡充を

医療技術の進歩は、不妊治療を身近なものとししました。お腹の中の子どもの様子を知ることも可能にしました。

不妊治療や出生前診断を受ける人が増え、それらに伴う新たな悩みもまた生まれています。悩みに応える相談体制の充実が求められています。

山崎さゆき (大和市議)



体外受精で産まれる
子どもは20人に1人

日本産婦人科学会のまとめによると、2015年に体外受精によつて生まれた赤ちゃんは5万1001人。全出生児数の20分の1となり、過去最多を更新しました。第1子を産む妊婦の平均年齢は2013年にはじめて30歳を超え、それ以降年々上がっています。高齢になると妊娠しにくくなるため、不妊治療を受ける人も増え続けています。

体外受精
出生率は横ばい

今ある技術を使わないでいることは困難です。現在のようにな妊治療が珍しいものではなく、場合、子どもを望んでも妊娠しない場合、不妊治療を始めるのはごく普通のこととなりつつあります。不妊治療の増加にともない体外

受精による出生児数は増えていますが、治療による出生率が上がったわけではありません。体外受精実施数から見た出生率は、約12%とずっと横ばいです。(グラフ参照)

体外受精をしても赤ちゃんに恵まれない人は未だ多くいます。

治療のやめどきが
わからない

技術の進歩によつて、高齢になつても妊娠できる可能性は高まりました。しかし同時に、「あきらめること」もまたできなくなつてしまつたのではないのでしょうか。

不妊治療を続けるには、経済的にも精神的にも大きな負担があります。経済的負担の補助として、国や自治体では治療の助成制度があります。大和市は、県内で唯一、一般不妊、特定不妊、不育症の3つの治療費用を助成しています。

治療を続けても赤ちゃんに恵まれない時、治療を継続すべきかやめるべきか、現在は身近に相談できる場が少なすぎると感じます。

子育て何でも相談・応援
センター」を利用しよう

不妊治療を続けてきた人の中には、自分を見つめることにより、本当は何を望んでいるのかわかつてくる人もいます。産みたいのではなく、子どもを育てたいのだと気づく人も中にはいます。そのような人が養子縁組や里親になることを考え始めた時、最も身近な自治体である市に相談できる場があることは大切です。

大和市には妊娠・出産・子育てのさまざまな相談に応じる「子育て何でも相談・応援センター」があります。

今回の一般質問後、ホームページ上の案内「このようなかで悩んでいませんか？」の欄に「不妊治療について知りたい」という項目が加わりました。

治療を続けるべきかどうか悩んでいる時には話を聞いてもらえますし、高度な専門知識が必要な場合には、神奈川県の不妊不育専門相談センターを紹介してもらえます。悩んだ時には市の窓口を利用することもひとつの方法です。

技術の進歩は
妊娠後の悩みも生む

高齢出産は、妊婦にも胎児にも、妊娠中や出産時のリスクがあり、医療的介入のニーズは今後ますます高くなります。

血液を調べればお腹の中の子どもの障害があるかどうか高い確率で診断できる新型の出生前検査も行われています。気軽にできるから「念のためやっておこう」「不安をなくすために受けておこう」と思う人は、出産年齢が上がるに従い増えると思えます。

全ての人が出生前検査とはどういうものかと深く考え、検査を受けると決断しているわけではありませんが、そこでもし、お腹の子どもの異常が見つかった時は、多くの妊婦や家族は、悩むのではないのでしょうか。

市立病院も

相談体制の充実が必要

正しい情報を提供し、検査を

受ける・受けたいを含めて相談できる体制を市がつけることが重要です。市立病院の産婦人科は、不安を覚えている妊婦がいた場合には、受診時や健診時に、医師や看護師が相談に応じるなど、多様な訴えに応じられる体制ができていくと、このことですが、まだ不十分です。「子育て何でも相談・応援センター」とも連携し、市民の心に寄り添った相談体制を充実させるべきです。そのため職員のスキルアップも望まれます。

◆12月議会の一般質問は議員のホームページでもご覧になれます。こちらのQRコードからお入りください。



おしゃべりサロン
(議会報告会)の
お知らせ

議会や市政の報告をし皆さんからお話を伺う場です。お気軽にご参加ください。(直接会場にお越し下さい)

- 2/16(金) 14:00~16:00 中央林間2丁目 ☎ 274-6493(竹内)
- 2/21(水) 13:00~15:00 西鶴間7丁目 ☎ 274-7334(竹内)
- 3/8(木) 10:00~12:00 中央5丁目 ☎ 263-2117(伊達)
- 3/10(土) 10:30~12:30 南林間2丁目「香音」

次号
まちづくりレポート
4月発行